

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の火災避難訓練は行っているが、様々な災害に対する避難訓練、夜間帯での想定訓練等で不十分な点がある。利用者の認知症の状況や身体状況に応じた避難誘導・支援方法を職員全員が周知する必要がある	火災、地震、その他様々な災害に対する避難訓練の実施、利用者の状態に応じた避難誘導方法の具体化をする。災害の予防・被害の軽微を目指した建物の整備を進めていく。	年2回の火災訓練に加えて、地震やその他の災害時における避難訓練をおおむね2ヶ月に1回行う。広域避難場所への移動や、利用者一人ひとりに合った避難誘導方法を職員間で話し合い、実践する。建物内の家具の倒壊防止や、ガラスの飛散防止策を考える。食料・日用品の備蓄などの整備。	12ヶ月
2	26	介護計画書に添ってサービスを行っている。実践内容を個人のケース記録に記載しているが、観察事項や評価考察などの記載が不十分である。	介護計画書に添ってサービス提供が出来るように個人記録、モニタリング・評価、課題抽出、カンファレンスが一連の流れとして機能し、より柔軟な介護支援が出来るようにする。	記録内容の見直し、実践内容や観察事項の記入の仕方を職員全員で確認する。介護計画書からモニタリング・評価が分かりやすく表明出来るような書式の作成をする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。